

ウィズバイク

RSG ライディングスクールへようこそ!

ウィズバイクスクールへようこそ! 最近は暖冬でシーズンオフが短いですね~。
温暖化は何とかならないといけないう大問題ですが、シーズンオフが短いとバイクはますます上手くなります(^-^)/
さてミナキも数年前からトレーニングに使っているGROMですが、最近は愛好家が爆発的に増えていますね。
このGROMのライディングに与える素晴らしい効果について今回は深掘りしてみましょう!



GROMはこんなライダーにぴったり(^-^)/

- ◆バイクでサーキット走行を楽しんでるけどなかなか上達しない。
- ◆バイク歴は長いけどなかなか深いバンクが出来ない。
- ◆フロントブレーキ引きずりやリアブレーキの練習をしたい。
- ◆レースを楽しんでるけどもっとレベルを上げたい。

5月5日(日)・10月14日(祝月)

ミニバイクスクール開校!!
コーナーリングの基本からレーシング
テクニックまで。 場所:HSR九州ドリムコース

上記のような悩みを持つ熱心な
ライダーさんに最近よく聞かれます

「練習で使うのはNSR50やNSF100と
GROMはどっちがいいですか?」

一般バイクの練習にミニバイクを使いたいならGROM一択!

GROMは練習すべきポイントが分り易く一般バイクと同じイメージで練習できる。
しかしレーサー型ミニバイクは同じイメージにならない。

GROMの特徴

- ・シートが高い
【重心が高い、コツが必要】
- ・レーサー型ほど曲がらない、車体が強い
【強いブレーキが必要でそれが可能】
- ・サスのストローク量大きい
【車体のピッチング(前後の動き)を使って曲げる必要あり】
- ・車格が大きく乗りやすい

レーサー型ミニバイク

- ・シートが低い
【重心が低い、バンクし易い】
- ・よく曲がる、軽い車体
【強いブレーキが不要】
- ・サスのストローク量が小さい
【車体の動きが少ないので簡単に小旋回しやすい】
- ・車体が小さく慣れるまで窮屈

レーサー型ミニバイクは、シートも重心も低いので、苦勞せずに直ぐにヒザが擦る程度のバンクが出来ようになります。しかし!それとビッグバイクでの深いバンクでのコントロールは別物。対してシートも重心も高いGROMでは、ヒザを擦るのにしばらく時間が掛かるかもしれませんが、それこそがビッグバイクと共通の特性でスピードが低い分リスクなく少しずつ練習していくのにピッタリのバイクなのです。

ライダーがもう2段、3段越えないといけないうGROMで克服しよう!!

それは「ブレーキ ⇒ リリース ⇒ 深いバンク」までの一連の流れ。

一般のバイクは重く重心が高いので、深いバンクへ移行し維持するには大きな慣性力や遠心力が必要です。そしてこの力は勝手に発生してはくれません! 全てライダーが発生させるのです。(これが技術) それには色々な操作や動作を同時に素早く行う事が必要になります。ビッグバイクでこれを練習するのはなかなかムズイ!



この上達への階段はよく言う「一歩ずつ」がなかなか通用しない(>_<)。山に例えるなら目の前をさえぎる大きな谷のイメージ。一気に飛び越さないとその先へ進めないけど谷が広すぎればチャレンジさえ出来ません、また狭すぎれば技術は付かない。ちょうどいいチャレンジが必要なのです。それがGROM! (別にホンダの回し者ではないよ(^-^)/)

ミナキ校長の独り言

しっかりブレーキを使ってフォークをストロークさせキャストを立てホイールベースも短くして上手く曲がってやらないといけないう。と同時にフロントタイヤの濡れを手放さないように重心を早め中心よりイン側へ移動させる。そしてハーフバンク中のFタイヤへのブレーキ荷重を減らしてやる事も考えリアブレーキの調整もまた微妙だ。それを突き詰めていく過程では舵がどのタイミングで欲しいか、その舵の量は...。そしてどのポイントでピッチングさせるか、前後の車高バランスも気になる。後輪の駆動で遠心力を発生させる事を前提として先行して頭と肩を落とし更に深いバンクへ向かいながらアクセルを見込み開けていく。ああ、次はどんな乗り方とサスセットを試そうかな...これがGROM走らせている時の脳内独り言・笑。

しっかりブレーキを使ってフォークをストロークさせキャストを立てホイールベースも短くして上手く曲がってやらないといけないう。と同時にフロントタイヤの濡れを手放さないように重心を早め

教えて!
ミナキ校長!!



ライディングの
YouTubeです!

【ライディングコーチ MINAKI】 RIDING SPORTS GARAGE 代表

西日本チャンピオンを経て1990年レースブームの真っただ中、国際A級へ自動昇格し全日本選手権を転戦。鈴鹿8耐に幾度も出場し完走。現役時代より教え出したら止まらない癖あり。現在は、ショップと各サーキットでの一般ライダー向けスクールを年間25回以上開催。コーチングノウハウを駆使してRSGレーシングを率い、同チームから多数の全日本ライダーを輩出。[RSGレーシング&スクールファミリー]で2015年2017年 鈴鹿8耐を無事完走!

ライディング スポーツ ガレージ

〒811-1242 福岡県那珂川市西隈 4-9-5
TEL 092-951-2299 FAX 092-951-2288

『RSG で検索』

RSG HP <http://rsg-sports.com>



profile